

別紙（第5条関係）

会 議 録

会議の名称	第2回第3次和泉市生涯学習推進プラン・第2次和泉市スポーツ推進基本計画 策定委員会
開催日時	令和4年10月5日（水曜日）14時から15時まで
開催場所	和泉市コミュニティセンター4階中集会室
出席者	澤村 直幸 委員、恵山 文孝 委員、坂東 剛 委員、門林 淳 委員、 野口 祥子 委員、上西 恵子 委員、駒澤 重信 委員、千葉 昌一 委員、 吉岡 隼平 委員、鈴木 雄太 委員(名簿順)
欠席者	金谷 忠男 委員、門林 弘季 委員、小前 恭則 委員、竹内 靖子 委員 (名簿順)
傍聴者	なし
会議の次第	1. 議案 (1) 市民アンケート調査結果について (2) 計画骨子(案)の確認について 2. その他
会議の要旨	和泉市生涯学習推進プラン及び和泉市スポーツ推進基本計画の策定に係る調査審議に 関すること。
会議録の 作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の 確認方法	<input checked="" type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他
備 考	

審 議 内 容 (発言者、発言内容、審議経過、結論等)

(司会進行：事務局)

- ・事務局より会議開催についての説明

本会議は公開することとなっていることを報告

会議資料の確認

- ・事務局より出席委員数の確認

委員総数14名のうち、出席者10名、欠席者4名となっており、和泉市生涯学習推進プラン・和泉市スポーツ推進基本計画策定委員会規則第6条の規定に基づき、本会議は成立していることを報告

(司会進行：鈴木委員長)

1. 議案

(1) 市民アンケート調査結果について

事務局説明

市内在住の満18歳以上の市民から無作為に抽出した3,000人に対して調査票を送付し、令和4年7月27日から8月12日の期間で調査を行った。郵送及びwebでの合計有効回収数は673件、有効回収率は22.4%となり、全市民に対して行うアンケートとの回答誤差は3.8パーセント以内となることから、十分に信用できる数字であると考えている。

今後、年齢別等の情報を加えた分析を行い、必要に応じて追加を予定している。また、施設アンケートについては、実施施設、アンケート内容の調整が整い次第、実施を予定している。

委員：当初4,000部の配付予定のうち施設調査に1,000部を回すとなっていたが、実施しなかったのか。実施したが、回答がなかったのか。

事務局：施設アンケートが、施設調査の1,000部にあたり、今月中の実施を予定している。

委員：調査対象の満18歳以上の市民について、年齢層の分布はどうなっているか。

事務局：70歳以上が30.3%で最も多くなっている。

(2) 計画骨子(案)の確認について

事務局説明

現時点での、計画策定のスケジュール(案)を説明

計画全体は、6章で構成しており、第1章は「計画の基本事項」とし、計画策定の趣旨、対象、他の計画等と本計画の位置づけと計画期間について記載。第2章は「まちの現状と今後の課題」とし、社会情勢や国・大阪府の現状、アンケート結果、課題と見直しの視点について記載。第3章は「VISION 2032(めざすまちの姿)」とし、めざす将来像、今回一体的な計画として策定するにあたって生涯学習・スポーツといった分野を横断した取組の基本方針及び体系図について記載。第4章は「生涯学習の推進」とし、学習環境の整備、学習機会の提供、生涯学習を通じたまちづくりと人材の育成、読書活動の推進について記載。第5章は「スポーツの推進」とし、環境の整備、スポーツ活動の機会の提供、スポーツ活動を支援するまちづくりについて記載。第6章は「計画の推進」とし、計画の推進体制、計画の評価・検証について記載を予定している。

委員長:事務局から報告があった計画骨子(案)について、委員の皆様からご意見・ご質問をお伺いしたい。

委員:地域活動の担い手について、こども会、PTA、青年団といった若年層に地域活動を経験してもらえ
る機会や場を検討してほしい。

委員:施設運営(スポーツ施設)の管理について、午前9時以前の早朝使用、高齢者の移動手段、平日の施設
利用促進の3点を検討してほしい。

委員:「げんきっ子プラザ(和泉市放課後子ども教室)」、学校体育施設の開放の記載に興味を持った。

委員:横文字や難しい言葉が多く、分かりにくい。分かりやすい文章にするか、注釈等をつけてほしい。地
域で歩いて活動できる、近くの活動場所が減少しているため、街区公園等の開発、すべての学校体育施設の
開放をお願いしたい。

委員:障がい者スポーツであるサウンドテーブルテニス、簡単で高齢者等もできる。そういった内容を知
ってもらいたい。

委員：会員が高齢化しており、後継者がいないまま、やめてしまうことで部会が減っていくという状況にある。新型コロナウイルス感染症の流行前に小中学校に出前講座のような形で赴く計画を実行に移し、学校の文化祭や芸術鑑賞といった機会を使って裾野を広げていきたいと考えている。

委員：基礎的な学習の場の確保について、具体的な対象者はどうなっているのか。取組みの充実を検討とあるが、検討中の対象者に対する取組みはどうか。

社会参画について「国籍にかかわらず」という記載があるが、国籍と母語や文化の違いは必ずしも一致しないため、表現を考えてほしい。

委員：競技スポーツの振興について、団体への支援や功労者の褒賞の具体的な内容が気になった。また、地域で活動している個人に対する支援についてはどうなっているか分からない。

委員：「検討します」「取り組みます」「推進します」といった記載が多いが、第2次和泉市生涯学習推進プランでは「学びが巡り、人とまちが輝く・和泉」を基本目標と定め、「知の循環」を重視して検討したように重点となる部分を検討し、策定委員会に提出してほしい。

また、アンケート結果は高齢者が多いため、若い世代の意見も積極的に取り入れてもらいたい。

委員：資料について、直前や当日配付だと内容の把握が困難となるため、事前に余裕をもって配付していただきたい。

委員：各施設について、指定管理者制度を実施しているが、市直営のときと比べ、市民ニーズが届きづらいように感じる。連携の方法を検討してほしい。

委員長：欠席の委員から事務局あてに意見は伺っているか。

事務局：「ICT」という表記について、担当庁の名称がデジタル庁であり、計画期間において、「デジタル技術」という言葉が主流となる可能性も考え、「デジタル技術」に替えてはどうかとの意見を伺っている。これを踏まえ、本計画内では「デジタル技術」という表記に変更する。

委員長：計画の名称について、仮称は生涯学習とスポーツのそれぞれの計画名を並べたものであるが、今回一体的な計画として新たに策定するため、名称につきましても新たに「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」としてはどうか。

・異議がなかったため、計画名称については「和泉市生涯学習・スポーツ推進計画」に決定

2. その他

委員：スポーツには競技する楽しみと観戦する楽しみの両方がある。そういった楽しみを市として盛り上げるような取組みを検討していただきたい。

委員：前回の策定委員会でも発言したが、スケボー施設について検討してほしい。

委員長：事務局から報告はあるか。

事務局：前回、委員から質問があった新庁舎の大型バスのスペースについて、基本的には大型バス2台分のスペースが確保されている。

事務局：先ほど委員から指摘があった前回プランの「知の循環」の代わる重点となる表現について、今回、新たに一体的な計画となることで、生涯学習・スポーツといった分野を横断した事業のあり方を検討している。そうした内容について分かりやすくキーワードとして示したいと考えている。

委員：次回の策定委員会は、10月27日の教育委員会定例会が終わってから日程が決まることになるのか。

事務局：第3回策定委員会については、11月4日から8日、第4回策定委員会は令和5年1月23日から27日の間で開催したいと考えている。今回、直前の案内になった反省も踏まえ、早い段階で委員の皆様へ日程調整を予定している。

委員長：他に質問等がなければ、これをもって、本日の和泉市生涯学習・スポーツ推進計画策定委員会を終了する。